



Prompt 取扱説明書

医療機器のクラス：管理医療機器
一 般 的 名 称：耳かけ型補聴器
販 売 名：補聴器 Prompt
形 式：Prompt P (Prompt MP)
(カタログ商品名) Prompt S (Prompt S)

このたびは「補聴器 Prompt」をお買い求め頂き、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

■補聴器の使用、性能についての注意事項

- 補聴器は聴力低下を補う医療機器です。他の目的には使用しないでください。
 - 補聴器は聞こえに合わせた調整をおこなう必要があります。必ずご自分にあった聞こえに調整してください。調整には専門の知識を必要としますので、補聴器の調整はお買い求めの販売店にご依頼ください。なお、この補聴器は、補聴器販売店の店頭における購入および当該販売店（または当該販売店の正式な委託を受けて補聴器の調整をおこなう者）による使用前の適切な調整を前提に製造・出荷されております。従って、通信販売などで本品を購入され、かつ適切な調整をおこなわずに本品を使用したことに起因してお客様に生じたいかなる事故もしくは被害も、当社は賠償・保証いたしかねますので、ご了承ください。
 - 補聴器は小さすぎる声、遠くの声、周囲の雑音が大きいときなどは十分に聞き取る効果が発揮できないことがあります。
 - 補聴器を使用しても聞こえが悪くなる前と同じ聞こえに戻るものではありません。また、聞こえには個人差があります。
 - 耳鼻咽喉科医師の受診を勧められたときは、ぜひ受診しましょう。
 - 聴力に変化があったり、使用する環境が変わったりすると、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は聴力測定を受けることをお勧めします。
- ※ この取扱説明書の内容は2025年7月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。
- ※ 本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。

目 次

■ ご使用前に	2ページ
■ 安全上のご注意(必ずお守りください。)	4ページ
■ 防水性能について	10ページ
■ 付属品の確認	12ページ
■ 各部の名称	14ページ
■ 電池の取扱い	18ページ
■ 装用の仕方	20ページ
■ 操作の仕方	25ページ
■ アクセサリ	34ページ
■ 補聴器に慣れるためのアドバイス	35ページ
■ お手入れの仕方	36ページ
■ 故障かなと思われたときは	39ページ
■ 補聴器の設定	40ページ
■ 技術資料	42ページ
■ アフターサービスについて	43ページ

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告：

この表示がある項目は、「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意：

この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



禁止：

この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■より快適なご使用のための方法を説明しています。



よりよく補聴器を使用するためのアドバイスとヒントです。



形式やオプションによって異なる機能を示します。



お求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるよう、ご依頼ください。

警告

■補聴器や空気電池は飲み込むと窒息の危険を伴います。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って補聴器などを飲み込まないように、周囲の人が常に注意してください。

■誤って空気電池を飲み込んでしまった場合は、慌てずにすぐ医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

- 空気電池が消化管に接触し電流が流れると、短時間でも消化管の壁に損傷が起こる恐れがあります。電流が流れ続けると潰瘍ができたり、穴が開いたりする恐れがあります。
- 胃内で空気電池が留まると空気電池の金属皮膜が腐食し、電解液が流出して消化管の壁を損傷する恐れがあります。

■空気電池から漏れた電解液が目に入った場合、失明など障害の恐れがあります。こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

禁止

■補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。

禁止

■下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の手術を受けたとき。
- 耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
- 最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかなとき。

■病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずすかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、補聴器をはずしてください。
- MRI検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



■補聴器による聴力低下を防ぐため次のことをお守りください。

- 大きすぎる音を出さないでください。
- 喧しいところでは音量を控えめにするか、長時間使用しないようにしてください。

■補聴器は完全防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。

■補聴器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

注意

■下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

- 耳漏が生じたとき。
- 耳の治療が必要になったとき。
- 耳鳴りが生じたとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、かゆみ、湿疹が生じたりしたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
- 補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき。

■空気電池は使い方を誤ると液漏れや発熱、破裂により、けがや補聴器の故障の原因になります。次のことをお守りください。

- 充電しない。
- 分解したり、ショートさせたりしない。
- 加熱したり、火中に投入したりしない。
- 水などに濡らさない。
- 投げつけたり、強い衝撃を与えたりしない。
- 極性(＋と－の向き)を間違えない。

■空気電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

■引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、補聴器を使用しないでください。

注意

■ 取扱いはていねいに

- 補聴器は精密機械です。落したり、ぶつけたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが補聴器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないように注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧水、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取りはずしてください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 補聴器を電子レンジの中に入れないでください。

■ 補聴器は高温や湿気をきらいます。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは補聴器を必ずはずしてください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

■ もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら……

- 水中に落としたときは、空気電池を出してよく水を切り、陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、空気電池を出して真水で洗った後、よく水を切り陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、空気電池を出して、補聴器を乾燥ケースで乾燥させてください。

注意

■電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送局、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーター、超音波洗浄機・超音波センサーなどを使用しているところでは、放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。補聴器の故障ではありません。補聴器をとりはずすか、その場所から離れてください。

■指向性について

- 補聴器を指向性モードで使用すると、主に後方からの音を抑えます。そのため後方から近づく車両の音やクラクションなどが聞こえにくくなることがあります。

■携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては補聴器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

■補聴器や電池がご不要になった場合

- ご不要になった補聴器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

■補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください。

- 空気電池を補聴器に入れたままにすると、空気電池が液漏れや膨張をおこし故障の原因になることがあります。
- 万一電池が破損し、電解液に触れたときはすぐに洗ってください。

防水性能について

「補聴器 Prompt」(形式:Prompt Sのみ)の防塵防水保護等級はIP67です。

これは「粉塵が中に入らない」「一時的に一定水圧の条件に水没しても影響がない(水深1mに30分間浸かっても、浸水がないことを確認)。」ことを意味します。

完全防水とは異なるので次の注意が必要です。

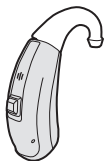
- 保護等級に関わらず補聴器を液体に浸したり、洗ったりすることを推奨いたしません。
- 「補聴器 Prompt」は、液体や湿気の多い状態にさらされることを前提として設計されてはおりません。
- 完全防水(メンテナンスフリー)ではありません。
 - 浸水状態や高温、低温、多湿の場所に放置しないでください。また使用しないでください。(お風呂・温泉、サウナ・ミストサウナ、スキー、岩盤浴、消防・調理・環境試験業務、ドライヤーで乾燥、冷蔵庫の中、コンロ・ストーブの脇など)
 - 洗濯機、超音波洗浄機、薬剤(石鹼、洗剤など)で洗わないでください。
 - 防水性能は紫外線や摩擦、薬剤などで経年劣化します。
 - 化学薬品やその他の液体は付着させないでください。(日焼け止めローション、シェーブローション、整髪料、ヘアスプレー、育毛剤、化粧水、香水など)
 - 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。マイクや音の出口などに砂が入り、音が小さくなったり歪んだりする原因となる恐れがあります。

- 補聴器が水に濡れている最中、補聴器に水滴がついているときや手が濡れている状態での電池室の開閉は絶対にしないでください。
- 電池室の内側が濡れている状態では絶対に電池を入れないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい場所に補聴器を持ち込むときは、補聴器が常温になってから持ち込んでください。万一結露したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 落下させたり、強い衝撃を与えたり、マイクや音の出口などを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる場合があります。
- ケースに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、販売店までご連絡ください。
- 補聴器は水に浮きません。
- アクセサリーは防水性能を有していません。水に濡れるような場所では、使用しないでください。

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを□に☑をいれて確認してください

☐ 補聴器本体【1台】※1)



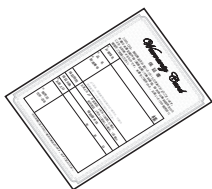
ご購入の形式により
形状が異なります。

☐ お試し空気電池【1個】※1)

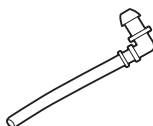


ご注文の形式により
サイズが異なります。

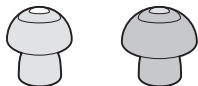
☐ 保証書【1部】※1)



☐ インサートチューブ【1個】※1)



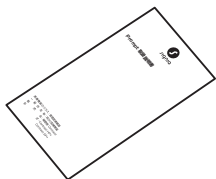
☐ イヤチップ(S、M)
【各1個】※1) ※2)



☐ マグネット付き
掃除ブラシ【1本】



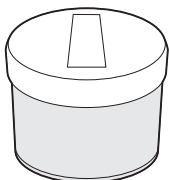
☐ 取扱説明書【1部】（本書）



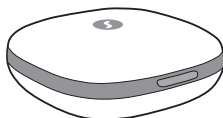
☐ 補聴器早わかりガイド【1部】



☐ 乾燥ケース【1個】



☐ 化粧ケース【1個】



☐ インジケータピン※1)

赤が右用



青が左用



補聴器の左右を識別するためのピンです。

（※青が左用、赤が右用です。）

このインジケータピンの取付け／交換は、お求めの販売店にご依頼ください。

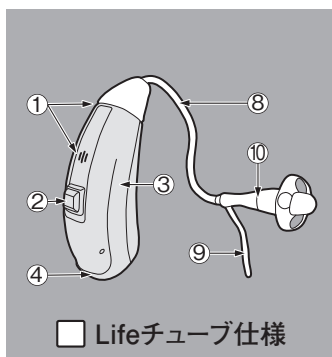
※1) 両耳でご注文の場合は2個付属されます。

※2) アクセサリ（別売）で他のサイズもあります。

付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

各部の名称

● Prompt S



- ① 音の入口 ② プッシュボタン (25・26 ページ参照)
③ ケース ④ 電池室 (18 ページ参照)
⑤ イヤフック ⑥ インサートチューブ ⑦ イヤチップ
⑧ Life チューブ ⑨ ストッパー ⑩ Life チップ

① プッシュボタンの機能について

プッシュボタンには、以下の2つの機能のうちどれか1つを選択することができます。(16ページ)

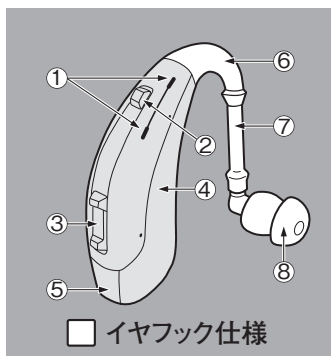
- ① 【プログラムの選択】機能 (26ページ参照)
② 機能を持たせない

詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

各機能の操作方法は、それぞれのページをご確認ください。

各部の名称

● Prompt P



- ① 音の入口 ② プッシュボタン (25・26・28 ページ参照)
③ ロックースイッチ (28・30 ページ参照)
④ ケース ⑤ 電池室 (18 ページ参照)
⑥ イヤフック ⑦ インサートチューブ ⑧ イヤチップ

❶ プッシュボタンの機能について

プッシュボタンには、以下の2つの機能のうちどれか1つを選択することができます。(16ページ)

- ① 【プログラムの選択】機能(26ページ参照)
- ② 機能を持たせない

ロックースイッチの機能について

ロックースイッチには、以下の2つの機能のうちどれか1つを選択することができます。(17ページ)

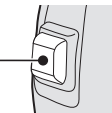
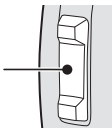
- ① 【音量の調節】機能(28ページ参照)
- ② 機能を持たせない

詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

各機能の操作方法は、それぞれのページをご確認ください。

■プッシュボタン、ロッカースイッチの動作

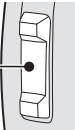
プッシュボタン、ロッカースイッチを使用するとプログラムの切り換えや音量の調節などを行うことができます。プッシュボタン、ロッカースイッチは選択した機能によって操作が異なります。補聴器に搭載されている調整器、選択した機能を下記の表に記入してください。(☐ にチェックを ☒ 入れてください)

調整器	左耳補聴器	右耳補聴器
	☐	☐
	☐	☐

☐ プッシュボタン				
機 能	左耳補聴器		右耳補聴器	
				
プログラムの選択 (オーディオ入力の選択)	☐		☐	
スリープモード		☐		☐

●プッシュボタンの操作方法

	プッシュボタンを押してください。
	プッシュボタンを3秒間押してください。

☐ ロッカースイッチ	ロッカー スイッチ 	
機 能	左耳補聴器	右耳補聴器
		
音量の調節	☐	☐

●ロッカースイッチの操作方法

	ロッカースイッチを押してください。
--	-------------------

電池の取扱い

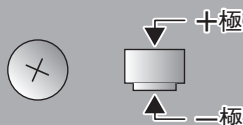
■電池は、補聴器用空気電池をご使用ください。

補聴器の形式により使用する空気電池のサイズが異なります。お買い求めの補聴器に使用する電池サイズにチェック

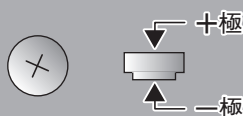
☒を入れてください。

※補聴器用空気電池は、乾電池と＋が逆で、出っ張りが－、平らが＋です。

☐ PR48(13)型



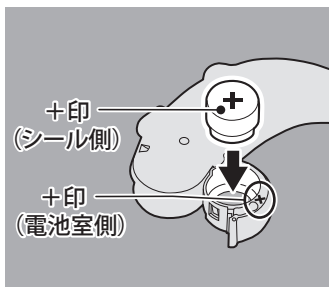
☐ PR41(312)型



原寸大

■空気電池の入れ方

- ① 補聴器の電池室を開きます。
- ② 空気電池の“+”と“-”の向きを確認します。
- ③ 補聴器の電池室と空気電池の“+”表示が一致するように入れます。

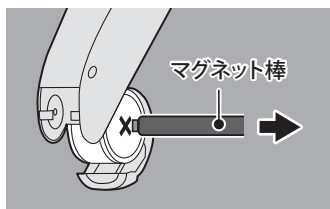


⚠ 注意

- 電池を逆向きに入れないでください。
- 電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとしないで電池の“+”“-”の向きとサイズを確認してください。
- 電池を無理に入れてしまうと補聴器が壊れたり、電池室が開かなくなったり、電池が液漏れや膨張をおこしたりして、故障の原因になることがあります。

■空気電池の取出し方

- ① 補聴器の電池室を開きます。
- ② 空気電池を取出します。マグネット棒で引っ張り出してください。



■空気電池について

- 補聴器用の空気電池をご使用ください。
- 空気電池は、使用するときには電池シールをはがしてください。一度、電池シールをはがすと、使用していなくても電池寿命は短くなります。
- 空気電池は、電池シールをはがしてから約1分後に使用可能になります。
- 常に予備の空気電池を携帯しましょう。
- 空気電池を携帯・保管する際は、小銭やクリップなどの金属製のものに触れないようにしてください。
- 空気電池の寿命は、補聴器の設定や使用する電池の種類、周囲の環境（低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量）によって変わります。
- 特に冬場は、空気電池が苦手な空気の乾燥、ストーブなどによる二酸化炭素の増加、気温の低下が重なり、電池性能（電池寿命）が大幅に低下する場合があります。
- 冬場など空気電池が冷えてしまった場合は、人肌で温めてからご使用ください。
- 空気電池は乾燥ケースの中に入れないでください。補聴器を乾燥ケースに入れるときは、空気電池を補聴器から取出してください。
- 使用前の空気電池は、常温で保管してください。直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での保管はおやめください。高温多湿な環境での保管は漏液の原因になります。

装用の仕方

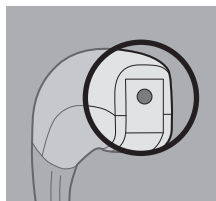
■装用前に

補聴器は、左右のそれぞれの聴力に合わせて調整されています。

補聴器を装用する際は、左右を確認して装用してください。

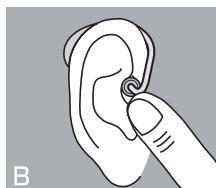
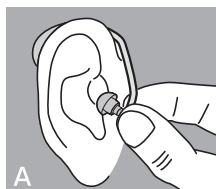
電池室に、左右を識別する色がついています。

- 赤＝右耳用補聴器
- 青＝左耳用補聴器



■イヤチップの装用方法

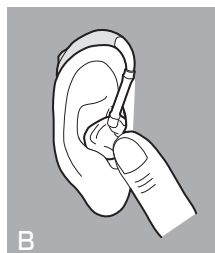
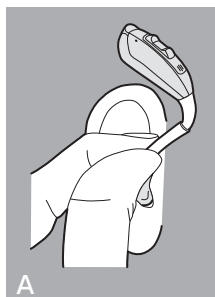
- ① 補聴器を耳にかけます。
- ② 図Aのようにインサートチューブの曲がりを人差し指と親指でつかみ耳の穴に挿入します。耳を後上方に引くと入れやすくなります。
- ③ インサートチューブが耳と接するぐらいまで、図Bを参考に人差し指で押し込んでください。



- ❗ イヤチップが耳の穴に合わない場合やハウリング音(ピーピー音)が起きる場合は、別売のイヤモールド(特注耳せん)の使用をお勧めします。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

■イヤモールド(別売)の装用方法

- ① イヤモールドを持ちます。
- ② 図Aのように、イヤモールドを後ろに回しながら耳に入れます。
- ③ 補聴器を耳にかけます。
- ④ インサートチューブが耳と接するぐらいまで、図Bを参考に人差し指で押し込んでください。

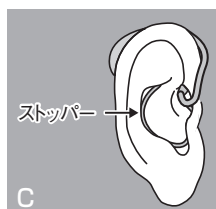
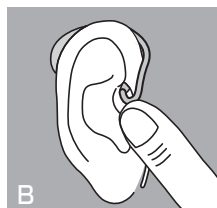


⚠ 注意

- インサートチューブ、イヤチップは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまう危険があります。
- イヤチップの付いていないインサートチューブを耳の穴に入れないでください。
- イヤチップの付いたインサートチューブを、耳の穴の奥深くまで無理に入れることは避けてください。

■Lifeチップ(別売)の装用方法(Prompt Sのみ)

- ① 補聴器を耳にかけます。
- ② 図AのようにLifeチューブの曲がりを入差し指と親指でつかみ耳の穴に挿入します。耳を後上方に引くと入れやすくなります。
- ③ Lifeチューブが耳と接するぐらいまで図Bを参考に人差し指で押し込んでください。
- ④ 図Cのようにストッパーを耳のくぼみに這わせてください。

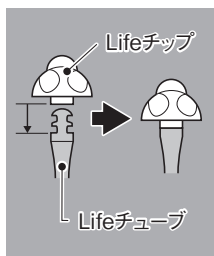


※ 耳の形状によりストッパーが耳のくぼみに入らない場合があります。その場合は、ストッパーを根本からきれいに切ってご使用ください。よほど激しく動かない限りLifeチップはぬけ出ることはありません。

❶ Lifeチップが耳の穴に合わない場合やハウリング音(ピーピー音)が起きる場合は、イヤフック仕様(イヤチップ)の使用、または別売のイヤモールド(特注耳せん)の使用をお勧めします。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- Lifeチューブには必ずLifeチップを使用してください。他のイヤチップは使用できません。
- Lifeチューブ、Lifeチップは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、劣化していなくとも3ヶ月を目安に交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまう危険があります。
- Lifeチップは、右図の通りLifeチューブにしっかりとはめこみ、指で引いて簡単に外れないことを確認してください。
- LifeチップのついたLifeチューブを、耳の奥深くまで無理に入れることは避けてください。
- Lifeチューブだけを耳に挿入することはおやめください。
- 他人のLifeチップ、Lifeチューブは使用しないでください。

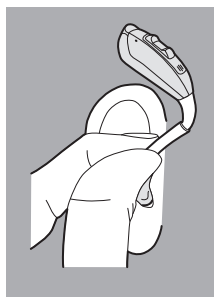


⚠ 重要

Lifeチップの材質は、シリコン樹脂を使用しています。
万一、耳の穴の中に残ってしまった場合、Lifeチップを耳の穴の奥深く押し込まないように注意して、耳鼻咽喉科医師または販売店にご相談ください。

■補聴器のはずし方

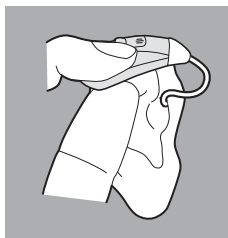
- ① 曲がりの部分をつまみます。
- ② ゆっくり外耳道から取出します。
- ③ 補聴器を耳からはずします。



⚠ 重要

補聴器を引っ張ってイヤチップなどを外耳道から抜き出さないでください。

無理に抜き出すと外耳道を傷つけたり、補聴器を破損したりする可能性があります。



操作の仕方

■電源の入れ方と切り方

(ご使用の機能に ☒ チェックを入れてください)

☐ 電池室を利用して

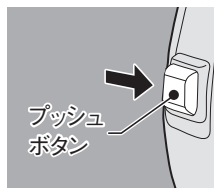
電源を入れる: 空気電池を入れ電池室を完全に閉じます。

電源を切る: 電池室を十分に開きます。

- 電池室を開閉するときは、開けた後3秒以上経ってから閉めてください。

☐ プッシュボタンを利用して

電源を入れる: 補聴器がスリープモードのときプッシュボタンを長押し(3秒)してください。してください。



電源を切る: プッシュボタンを長押し(3秒)してください。補聴器がスリープモードになります。

- ① ● スリープモードとは、補聴器から音を出力させない待機状態のことです。そのため微弱電流を消費します。
- スリープモードの設定は、有効/無効を選ぶことができます。
 - 電源が入ったことをお知らせ音でお知らせすることができます。

スリープモードの設定はお求めの販売店にご依頼ください。

■プログラム（聞こえ）の選択

（ご使用の機能に ☒ チェックを入れてください）

補聴器には、聞こえの設定を最大4つ保存することができ、聞こえの状況や周囲の環境に合わせて設定を変更することができます。

補聴器の電源を入れると、常にプログラム1が呼び出されます。

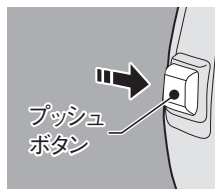
- プログラムの設定は、ご要望に合わせて調整できます。
- 【プログラムの選択】機能を無効にすることもできます。
- プログラムを切り換えたとき、お知らせ音でお知らせできます。

お求めの販売店にて変更することができます。

☐ プッシュボタンを利用して

プッシュボタンを押すと設定されたプログラムが順番に切り換わります。

プッシュボタンを押すと設定されたプログラムが順番（1→2→3→……→1）に切り換わります。



- スリープモードを有効にしていると、ボタンの長押しで補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。再度長押しするか電源を入れなおすとスリープ状態が解除され音が出ます。

☐ リモコン（別売）を利用して
リモコンの取扱説明書をご覧ください。

☐ スマートフォンアプリを利用して
弊社のスマートフォンアプリで補聴器のプログラムの選択を
操作できます。

■ 音量の調節 (ご使用の機能にチェック ☒ を入れてください)

この補聴器の音量はお客様の聴力に適した音量に自動的に調節されます。手動で補聴器の音量を調節することもできます。



- 音量の変化幅を変更することができます。
- 音量を調節したとき、お知らせ音でお知らせすることができます。
- 【音量の調節】機能を無効にすることもできます。
【音量の調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。



自動調節

補聴器の音量は自動的に調節されます。



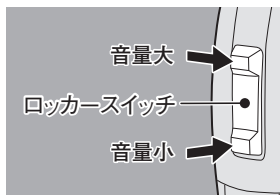
注意

音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。お求めの販売店にご依頼ください。



ロッカースイッチを利用して

スイッチの上部を押すと音量が大きくなり、下部を押すと音量が小さくなります。最も聞こえやすい音量に調節してください。



注意

音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。お求めの販売店にご依頼ください。

☐ リモコン（別売）を利用して
リモコンの取扱説明書をご覧ください。

☐ スマートフォンアプリを利用して
弊社のスマートフォンアプリで補聴器の音量の調節を操作
できます。

■プッシュボタン、ロッカースイッチのロック (Prompt Pのみ)

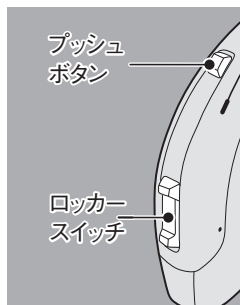
誤ってプッシュボタン、ロッカースイッチを押しても動作しないようにすることができます。(Eロックと言います。)

ロックされると、プッシュボタンとロッカースイッチは動作しなくなります。

❶ ロック機能の設定は、有効/無効を選ぶことができます。
お求めの販売店にご依頼ください。

●プッシュボタン、ロッカースイッチの ロック

ロッカースイッチの上部ボタンを押したまま、プッシュボタンを3秒間、押し続けてください。



●プッシュボタン、ロッカースイッチの ロック解除

ロッカースイッチの下部ボタンを押したまま、プッシュボタンを3秒間、押し続けてください。

❶ 両耳に補聴器を装用している場合は、左右それぞれ
ロック、ロック解除をしなければなりません。

■テレコイル(Prompt Pのみ)

テレコイルとは、磁気によって音声信号を拾う機能です。
電話機や磁気誘導ループ※が設置されている場所で必要な音声信号を周囲の雑音にさえぎられることなく、音声信号を聞くことができます。

※ 磁気誘導ループシステムを利用できる
施設には右記のようなマークがあります。



① テレコイル機能については、お求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

電話機によっては、十分な磁気が発生されず、音声信号を聞き取れない場合がございます。

■オーディオインプット(Prompt Pのみ)

オーディオシュー(別売)を使用することにより、FMシステムや外部機器と接続することができます。

必要な音声信号を周囲の雑音に遮られることなく、聞くことができます。

- ❶ ● オーディオシューを使用するためには、専用の電池室に交換しなければなりません。
 - オーディオシューが取り付けられたとき、自動的に専用のプログラム設定に変更することができます。【自動オーディオシュー検出】
 - オーディオシューからの外部入力(A)のみ、周囲の音(M)のみ、または外部入力と周囲の音をミックス(AM)して補聴器から出力させることができます。
- お求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 弊社指定のオーディオシューを使用してください。
- オーディオインプットに接続する機器は、電気安全法やIEC60065規格などの安全性を備えた機器を接続してください。
- オーディオ入力を切り替えるには、自動オーディオシュー検出とプッシュンボタンの【プログラムの選択】機能を有効にする必要があります。

■電源の遅延動作について

- 補聴器の電源を入れてから時間をおいて、音を出すことができます。
- この機能を使用すればハウリング音(ピーピー音)を聞くことなく補聴器を耳に入れることができます。

i 電源ONのお知らせ音を有効にしていると、補聴器の電源を入れたときにお知らせ音が聞こえ、設定時間を経過してから周囲の音が聞こえます。

電源の遅延動作の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

■空気電池が消耗したとき

- 空気電池が消耗すると音が段階的に小さくなります。このときは新しい空気電池に交換してください。
- 一旦電池室を開けて閉めると、再び聞こえることがありますが、長くご使用になれません。
- 古い空気電池を入れたままにすると、空気電池の液漏れや膨張をおこすことがありますので、必ず取出してください。

i 空気電池が消耗したときにお知らせ音でお知らせすることができます。

お知らせ音の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

アクセサリ

■リモコン(別売)

miniPocket

補聴器のプログラムの選択、音量の調節を手元でおこなうことができます。

詳しい情報と操作方法は、お買い求めの販売店に相談するか、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



miniPocket

i 他の人のリモコンで補聴器の設定が変わってしまう場合は、お求めの販売店にご相談ください。

補聴器に慣れるためのアドバイス

補聴器に慣れる必要があります。いろいろな場所で聞いてみましょう。

- ☐ 静かな部屋を使用して、補聴器をつけることと音に慣れてください。声を出して新聞や本などを読んで、自分の声に違和感がなくなるまで、自分の声を聴く練習をします。



- ☐ 静かな部屋で1人の身近な人と話をする練習をします。



- ☐ 4～5人の人たちの会話を聞き、どの人が話をしているのか聞き分ける練習をします。



- ☐ 単に聞くだけではなく“聞こう”とする意欲が大切です。



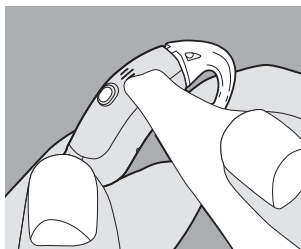
- ☐ 戸外で、いろいろな音を聞いて、何の音が聞こえるか練習します。



補聴器は初回の調整だけでは完成しません。
気になる点があれば、お求めの販売店に相談しましょう。

お手入れの仕方

- 補聴器は常に清潔にしておいてください。
- 補聴器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



⚠ 注意

- 補聴器を水で洗ったり、水に浸したりしないでください。
- お手入れ中に、補聴器に強い力を加えないでください。

- 補聴器のご使用後は、補聴器を乾いた布で拭いたあと、空気電池を出して電池室を開けたまま乾燥ケースの中で乾燥させてください。空気電池も汗を拭き取ってください。（特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。）補聴器を乾燥ケースの中に入れたら、蓋をしっかりと閉めてください。蓋が閉まっていないと乾燥効果を十分に得られません。
※空気電池は乾燥ケースの中に、決して入れないでください。



i 乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。

その場合、新しい詰め替え用に交換してください。

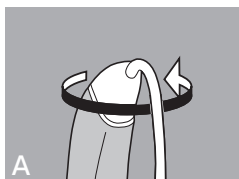
湿気の状態にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。(梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。)

- インサートチューブ、Lifeチューブ(別売)内に水滴が溜まると音が聞こえなくなることがあります。補聴器からインサートチューブ、Lifeチューブをはずしてエアブローア(別売)などで水滴を吹き飛ばしてください。(特に冬場、寒暖の差が大きい場合に水が溜まりやすくなります。)
- イヤチップ、Lifeチップ(別売)、イヤモールド(別売)は常に清潔に保ちましょう。イヤモールドのクリーニングにはクリーニングシート/クリーニングタブレット(別売)をご使用になるとたいへん便利です。
- 毎日ご使用後汚れをクリーニングするようお勧めします。

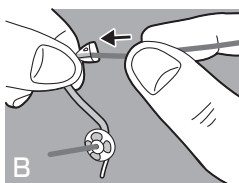
■Lifeチューブ（別売）の掃除の仕方

Lifeチューブは定期的に掃除してください。耳垢がつまり音が出なくなる場合があります。

- ① 図AのようにLifeチューブを反時計方向にまわして、補聴器からLifeチューブを取りはずします。



- ② 図BのようにLifeクリーニングワイヤをLifeチューブに補聴器本体から差し込み、Lifeチップ側まで突き通します。



- ③ Lifeクリーニングワイヤに付着した耳垢などをふき取ります。
- ④ LifeチューブからLifeクリーニングワイヤを抜き取ります。
- ⑤ Lifeチューブを時計方向に4～5回まわして、しっかりと補聴器にLifeチューブを装着します。

⚠ 注意

補聴器にLifeチューブを装着するときは、LifeチューブからLifeクリーニングワイヤが抜き取られていることを確認してください。LifeクリーニングワイヤがついたままでLifeチューブから飛び出ていると、補聴器を装着したときに外耳道や鼓膜を損傷する恐れがあります。

故障かなと思われたときは

補聴器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。

1

補聴器が汗や水分に濡れましたか？

はい

空気電池を取出した補聴器を乾燥ケースに入れて乾燥させてください。
(36ページ参照)

いいえ

2

空気電池が消耗していませんか？

はい

空気電池を交換してください。
(18・19ページ参照)

いいえ

3

イヤチップ、Lifeチップが詰まっていたり、インサートチューブ、Lifeチューブに水滴が入っていませんか？

はい

クリーニングしてください。
(36・37・38ページ参照)

いいえ

4

イヤチップ、Lifeチップが正しく耳に入っていますか？

いいえ

正しく耳に入れ直してください。
(20・21・22ページ参照)

はい

お求めの販売店に修理をご依頼ください。

補聴器の設定

お求めの販売店で、補聴器の仕様や補聴器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。

(☐ にチェックを ☒ 入れてください)

空気電池やイヤチップ等のご購入の際や環境プログラムをどのようなときに選択すればよいのかを判断する際にご利用ください。

補聴器			
形 式	☐ Prompt S	☐ Prompt P	
空気電池	☐ PR41 (312) 型	☐ PR48 (13) 型	
ご使用の イヤチップ	☐ L※1 ☐ M ☐ SS※1	☐ MM※1 ☐ S	
ご使用の Lifeチューブ※2	☐ 1L ☐ 2L ☐ 3L ☐ 4L ☐ 5L ☐ 6L ☐ 1R ☐ 2R ☐ 3R ☐ 4R ☐ 5R ☐ 6R		
ご使用の Lifeチップ※2	☐ 4mm ☐ 6mm ☐ 8mm ☐ 10mm ☐ 8mm (穴なし) ☐ 8+10mm ☐ 10+12mm ☐ チューリップ (フリーサイズ12mm)		
電源の遅延機能	☐ 18秒 ☐ 12秒 ☐ 6秒 ☐ 無効		
スリープモード	☐ 有効	☐ 無効	

※1 別売のオプションです。

※2 別売のPrompt S用のオプションです。

お知らせ音

環境プログラムの切り替え	☐ 有効	☐ 無効
音量調節	☐ 有効	☐ 無効
音量調節の限界	☐ 有効	☐ 無効
音量調節の開始位置	☐ 有効	☐ 無効
電池容量の警告	☐ 有効	☐ 無効

環境プログラム(聞こえの)設定

プログラム番号	プログラム内容・使用環境
1	
2	
3	
4	

これら設定の変更は、お求めの販売店にご相談ください。

リモコン

形 式	☐ miniPocket
-----	-------------------------------------

■動作、保管と輸送について

補聴器をご使用する際は下記の条件を確認してください。

	動作中
温度	0～50℃
相対湿度	5～93%
大気圧	700～1060hPa

長期間の保管や輸送をする際は下記の環境を保ってください。
保管する際は、補聴器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

	保管	輸送
温度	10～40℃	-20～60℃
相対湿度	10～80%	5～90%
大気圧	700～1060hPa	700～1060hPa

アフターサービスについて

- 保証書（別に添付してあります。）

保証書には必ず「販売店名、お買上日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。

- 保証期間中、修理依頼されるとき

恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。

保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有償修理になります。

- 保証期間経過後の修理について

お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償で修理いたします。

- 部品の保有期間

この補聴器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。（部品の供給状況により、短くなる場合があります。）

- その他のお問い合わせは……

アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店または弊社のお客様コールセンターまでお問合せください。

製造販売業者 : WSオーディオロジージャパン株式会社
住 所 : 〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル 6F
TEL 0800-888-0303 FAX 0800-888-4133
※フリーコールにつながらない場合は、下記番号まで
お問合せください。
TEL 046-289-0303 FAX 046-407-1133

Document No. 02903-99T10-5Z00 JP-JPN ; D00297595
Order/Item No. 105 392 81
Master Rev05, 04.2019
© 07.2025, Signia GmbH. All rights reserved



* 1 0 5 3 9 2 8 1 J *

キ -10539281 / Rev.J 2025.7